



あさむし水族館

令和8年5月16日(土)

報道機関各位

青森県営浅虫水族館

【浅虫水族館からのお知らせ】

東京大学大気海洋研究所と東京理科大学との共同研究により、エゾハリイカの雄が求愛に使う腕の形が、視覚的なコミュニケーションシグナルを作るための光の仕組みによって決まることを明らかにした論文「Optical constraints shape a polarized sexual ornament in cuttlefish (光の制約がコウイカの偏光を発する性的装飾形質の形を決める)」が発表されました。バックヤードへの実験用水槽設置など、当館も研究に協力し、新たな知見が得られました。

なお、本論文の内容に関する取材は、以下の問い合わせ先をお願いいたします。

【問い合わせ先】

東京大学大気海洋研究所

准教授 岩田 容子 (いわた ようこ)

Tel : 04-7136-6261

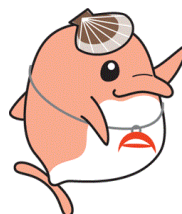
E-mail : iwayou@aori.u-tokyo.ac.jp ※「◎」は「@」に変換してください

【プレスリリースページ URL】

<https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/research/news/2026/20260515.html>



本資料はこちらからも
ご覧いただけます→



問い合わせ先：浅虫水族館 広報担当

〒039-3501 青森市浅虫馬場山 1-25

TEL : 017-752-3377

MAIL : koho@jasamushi-aqua.com

(メールは「」を除いて送信ください)